

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0511
施設名	松葉保育園
施設所在地	稲城市矢野口2065
法人名	社会福祉法人東保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本の世界に入ってみよう！

<テーマの設定理由> 例年にも増して絵本への興味・関心を示す子ども達だったため

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

大好きな『だるまさんが』シリーズを何度も何度もリクエストして読んでもらう姿があった。そのうちに絵本のリズムに合わせて体を揺らし、全身で絵本の世界を感じていた。制作をだるまさんにちなんだものにしたたり、大きなだるまさんの絵を飾ったり遊んでいった。最後はスクリーンに写して絵本の中に入ろうとする姿があった。

2. 活動スケジュール

春から『だるまさんが』シリーズの絵本を何度も読み聞かせしてきた。

10月にはだるまさんの制作をおこなったり、大きなだるまさんの下絵を描き、フィンガーペイントやシール貼りを楽しんでいた。

11月には、大きなスクリーンに絵本を写し、絵本の世界を全身で感じていた。

2月には、節分の鬼をだるまさんにしてかぶるなどした。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

乳児サークル内に絵本コーナーを設定したり、制作物を準備したりした。プロジェクターを使って絵本の世界を写したり、大きな絵を準備して飾ることもおこなった。また、新しくシリーズで絵本を購入した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

絵本の好きな子ども達だったため、大好きな『だるまさんが』シリーズを年間を通して楽しんでいった。サークルにブックポケットを吊るして子ども達が手に取りやすくしたり、制作をだるまさんのコンセプトでおこなったりした。11月にはプロジェクターに絵本を写して、まるで絵本の中に子ども達が入ろうとするような姿があり、興味を深めていた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

何度も同じ絵本を読んで欲しいと持って来たり、「だるまさんが」「だるまさんの」というフレーズに合わせて、みんなでタイミングを合わせて体を揺らす姿があった。保育者も同じように体を揺らし、一体感や信頼感の感じながら楽しい時間を共有した。大きなスクリーンに写った絵本には、まるで入ろうとするかのように近づいていっていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

身近な大人と楽しさを共有することに喜びを感じ、愛着関係を深めていく一助としての絵本を用いたすくわくプログラムのテーマ設定だったが、子ども達のイメージの広がりには想像以上に大きく、0歳児の表現力に驚きを感じ、環境設定の重要性をあらためて認識した活動となった。